

全身管理と口腔外科的治療 (AST : Advanced Surgical Treatment)

(H25 年 7 月 1 日～10 月 9 日)

コース責任者：(主) 星 秀樹、青村知幸、八木正篤、佐藤雅仁、中居賢司

担当講座 (分野) 担当 Director：	解剖学講座 (機能形態学分野)	藤村 朗
	生理学講座 (病態生理学分野)	成田 欣弥
	薬理学講座 (病態制御学分野)	田村 晴希
	口腔顎顔面再建学講座 (口腔外科学分野)	青村 知幸
		八木 正篤
	口腔顎顔面再建学講座 (口腔外科学分野)	星 秀樹
	口腔顎顔面再建学講座 (歯科麻酔学分野)	佐藤 雅仁
	口腔顎顔面再建学講座 (歯科放射線学分野)	泉澤 充
	口腔医学講座 (関連医学分野)	中居 賢司

第 4 学年

講義：163.5 時間 実習・他：67.5 時間

一般目標 (講義・実習)

顎口腔領域に発症する各種疾患について、その原因、病態、症状、診断、処置ならびに予後について修得する。また、これらの疾患の診断と治療方針の決定に必要な全身状態の評価、麻酔の基礎と理論を理解し、これを基に歯科治療や口腔外科手術に伴う痛みや不安を取り除く知識と技術を修得する。

実習では臨床実習前に修得すべき救急蘇生法、口腔外科の診療に必要な診察、手洗いと滅菌グローブの装着、消毒、局所麻酔、抜歯、切開・縫合・抜糸などに関する基礎知識を深化させ、それらの技術、態度を身につける。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
7 月 1 日 (月) 1 限	星秀樹准教授 (口腔外科学)	AST での学習内容を理解する。	1. AST での学習内容を説明できる。
7 月 1 日 (月) 2 限	佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	全身管理に必要な生理学 1 総論 歯科治療によって誘発される生体反応について理解する。	1. 手術および歯科診療における全身管理の必要性を説明できる。 2. 歯科における侵襲 (ストレッサー) を列挙できる。 3. 循環系の反応について説明できる。 4. 呼吸系の反応について説明できる。 5. 内分泌系の反応について説明できる。 6. 免疫系の反応について説明できる。
7 月 1 日 (月) 3 限	成田欣弥講師 (病態生理学)	全身管理に必要な生理学 2 呼吸 呼吸の調節と呼吸による体内の変化を理解する。	1. 呼吸運動を説明できる。 2. 血液ガスの運搬を説明できる。 3. 呼吸の調節について説明できる。 4. 体液の pH と呼吸による pH 調節を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
7月1日(月) 4限	成田欣弥講師 (病態生理学)	全身管理に必要な生理学3 循環 心機能、血圧、体液量の調節を理解する。	1. 心臓の興奮伝導系と心臓の運動を説明できる。 2. 心臓の機能・構造と心電図の関係を説明できる。 3. 心機能の調節について説明できる。 4. 血管運動と血圧の調節を説明できる。 5. 体液量の調節について説明できる。
7月2日(火) 1限	四戸豊特任講師 (歯科麻酔学)	救急蘇生法 (BLS) 救急蘇生法 (BLS) について理解する。	1. バイタルサインについて説明できる。 2. 成人の一次救命処置について説明できる。 3. 自動体外式除細動器について説明できる。 4. 小児の一次救命処置について説明できる。 5. 異物による気道閉塞とその解除を説明できる。
7月2日(火) 2限	四戸豊特任講師 (歯科麻酔学)	救急蘇生法 (ACLS) 救急蘇生法 (ACLS) について理解する。	1. 成人の二次救命処置について説明できる。 2. 小児の二次救命処置について説明できる。 3. 蘇生時の薬物療法について説明できる。 4. 電気的治療について説明できる。 5. 急性冠症候群について説明できる。
7月2日(火) 3、4限	城 茂治教授 佐藤雅仁准教授 佐藤健一講師 四戸豊特任講師 遠藤千恵助教 坂本望助教 (歯科麻酔学) 水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	救急蘇生法 (BLS) 外来見学 (班別実習・臨床第1実習室) 救急蘇生法 (BLS) を実施できる。	1. バイタルサインを把握できる。 2. 成人の一次救命処置を適切に実施できる。 3. 自動体外式除細動器を適切に使用できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
7月3日(水) 1限	成田欣弥講師 (病態生理学)	全身管理に必要な生理学4 神経 体性神経系、自律神経系について理解する。	1. 神経系の分類と分布を説明できる。 2. 体性神経系の走行と働き、特徴を説明できる。 3. 自律神経系の走行と働き、特徴を説明できる。
7月3日(水) 2限	田村晴希講師 (病態制御学)	救急蘇生法(救急薬物) 救急蘇生に使用する薬物について理解する。	1. 昇圧薬、抗不整脈薬、降圧薬について説明できる。 2. 全身偶発症に対する薬物の使用について説明できる。
7月3日(水) 3、4限	城茂治教授 佐藤雅仁准教授 佐藤健一講師 四戸豊特任講師 遠藤千恵助教 坂本望助教 (歯科麻酔学) 水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	救急蘇生法(BLS) 外来見学 (班別実習・臨床第1実習室) 救急蘇生法(BLS)を実施できる。	1. バイタルサインを把握できる。 2. 成人の一次救命処置を適切に実施できる。 3. 自動体外式除細動器を適切に使用できる。
7月4日(木) 1限	四戸豊特任講師 (歯科麻酔学)	中間試験	1. コースでこれまでに学んだことについて説明できる。
7月4日(木) 2限	四戸豊特任講師 (歯科麻酔学)	補足講義	1. コースでこれまでに学んだことについて説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
7月4日(木) 3、4限	城茂治教授 佐藤雅仁准教授 佐藤健一講師 四戸豊特任講師 遠藤千恵助教 坂本望助教 (歯科麻酔学) 水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	救急蘇生法 (BLS) 外来見学 (班別実習・臨床第1実習室) 救急蘇生法 (BLS) を実施できる。	1. バイタルサインを把握できる。 2. 成人の一次救命処置を適切に実施できる。 3. 自動体外式除細動器を適切に使用できる。
7月5日(金) 1限	水城春美教授 (口腔外科学)	顎口腔外科診断学 1 医療面接 2 診察法 顎・口腔外科の診療において必要な医療面接の方法を習得する。	1. 医療面接の重要性について説明できる。 2. 医療面接法について概説できる。 3. 医療面接で収集すべき情報を列挙できる。 4. 医療面接で留意すべきことを列挙できる。 5. 医療面接でのコミュニケーションの重要性を説明できる。 6. 診察法の種類を列挙できる。 7. 基本的な診察法の概略を説明できる。 8. 診察に必要な器材を列挙できる。 9. 視診の項目を列挙できる。 10. 触診の項目を列挙できる。
7月5日(金) 2限	星秀樹准教授 (口腔外科学)	顎口腔外科診断学 3 主要症候 口腔外科疾患における主要な症候を理解し、診断に必要な知識を習得する。	1. 主要な症候を列挙できる。 2. 主要な症候の概略を説明できる。 3. 主要な症候の原因、病理を説明できる。 4. 主要な症候を有する主な疾患をできる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
7月5日(金) 3限	熊谷章子助教 (口腔外科学)	顎口腔外科診断学 4 検査法 顎・口腔外科の診察において必要な検査法を習得する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 検査の種類を列挙できる。 2. 基本的な検査法の概略を説明できる。 3. 基本的な検査法の臨床的意義が説明できる。 4. 各臨床検査の基準値を述べることができる。 5. 重要な検査の異常値の意味を説明できる。
7月5日(金) 4限	阿部亮輔助教 (口腔外科学)	顎口腔外科診断学 5 全身状態の評価 口腔外科処置を行うにあたって、全身状態を評価し、施術可能かどうかを判断できる知識を習得する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科治療に際して留意すべき全身状態を列挙できる。 2. 全身状態を評価するために必要な検査項目を列挙できる。 3. 全身状態を評価するために必要な検査項目を説明できる。
7月8日(月) 1限	杉山芳樹教授 松本直子助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	顎顔面の損傷 総論 口腔顎顔面領域に見られる損傷の概念、症状、治療について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 損傷の種類を列挙できる。 2. 損傷の症状を概説できる。 3. 損傷の治療法を概説できる。
7月8日(月) 2限	杉山芳樹教授 松本直子助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	顎顔面の損傷 1 軟組織の損傷・合併損傷 顔面および口腔軟組織損傷の診断法と治療について理解する。 口腔顎顔面外傷の合併損傷の診断法と損傷に対する治療について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 難組織損傷の種類と特徴および治癒過程を説明できる。 2. 軟組織損傷を分類し、それぞれの症状と処置法を説明できる。 3. 軟組織損傷の治療原則を説明できる。 4. 合併症の種類と特徴を説明できる。 5. 合併損傷を分類し、それぞれの症状と処置法を説明できる。 6. 合併症の検査法と治療原則を説明できる。
7月8日(月) 3限	星秀樹准教授 熊谷章子助教 (口腔外科学)	医科との連携 1 睡眠時無呼吸症候群 睡眠時無呼吸症候群の概念、症状、診断、治療について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康成人の睡眠に概説できる。 2. 睡眠時無呼吸症候群の概念について説明できる。 3. 睡眠時無呼吸症候群の症状について説明できる。 4. 睡眠時無呼吸症候群の疫学、原因について概説できる。 5. 睡眠時無呼吸症候群の診断、治療について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
7月8日(月) 4限	杉山芳樹教授 松本直子助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	顎顔面の損傷 2 歯の外傷・歯槽骨骨折 歯の損傷および歯槽骨骨折の診断法と治療について理解する。	1. 歯の損傷の種類と特徴および治癒過程を説明できる。 2. 歯の損傷の症状と検査法を列挙できる。 3. 歯の損傷の診断と治療法を説明できる。 4. 歯槽骨骨折の症状と検査法を列挙できる。 5. 歯槽骨骨折の診断と治療法を説明できる。
7月9日(火) 1限	杉山芳樹教授 松本直子助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	顎顔面の損傷 3 顎骨骨折、他 顎顔面骨折の診断法と治療について理解する。	1. 一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。 2. 顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。 3. 上顎骨骨折、下顎骨骨折、頬骨・頬骨弓骨折および鼻骨骨折の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明できる。
7月9日(火) 2、3、4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	実習用模型作製 (全体実習・臨床第1実習室) 顎骨骨折に対する治療法に関する知識、技能、態度を習得する。	1. 顎骨骨折の治療法を説明できる。 2. 歯の結紮および線副子固定法が実施できる。 3. 顎間固定法が実施できる。
7月10日(水) 1限	杉山芳樹教授 飯島伸助教 (口腔外科学)	先天異常・後天異常 総論 顔面・口腔の裂奇形 先天性・後天性異常の概念、成因、発生との関連について理解し、裂奇形にかんする	1. 先天異常・後天異常の概念を説明できる。 2. 先天異常・後天異常の成因について説明できる。 3. 顔面・口腔の発生と先天異常との関連について説明できる。 4. 列奇形の種類を列挙できる。 5. 口唇裂の発生率、裂型、症状、治療法を説明できる。 6. 口蓋裂の発生率、裂型、症状、治療法を説明できる。
7月10日(水) 2限	杉山芳樹教授 飯島伸助教 (口腔外科学)	先天異常・後天異常 顎の異常 顎の先天性・後天性異常について理解し、顎変形症に関する知識を習得する。	1. 主要な顎形態異常を列挙することができる。 2. 主要な顎変形症の症状を説明できる。 3. 主要な顎変形症の診断法を説明できる。 4. 主要な顎変形症の治療法を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
7月10日(水) 3限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	画像診断学(基礎1) 口腔領域に発症する疾患の治療を適切に行うための画像診断所見の記載方法を習得する。 歯および歯周組織疾患の診断を行うために必要な知識・技能を習得する。	1. 読影所見の記載方法を列記する。 2. 歯根嚢胞を例として、読影所見を記述する。 3. 歯および歯周組織疾患のX線所見を述べる。
7月10日(水) 4限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	画像診断学(基礎2) 口腔領域に発症する疾患の治療を適切に行うための画像診断所見の記載方法を習得する。 口腔領域の疾患の診断に必要なMRI画像を習得する。	1. 以下の項目について説明できる。 T1強調像 T2強調像 プロトン強調像 造影撮像
7月11日(木) 1限	杉山芳樹教授 飯島伸助教 (口腔外科学)	先天異常・後天異常 軟組織の異常 顎・口腔に異常を現す症候群と系統的骨疾患 先天性・後天性の軟組織の異常ならびに顎・口腔に異常を現す症候群と系統的骨疾患に関する知識を習得する。	1. 主要な軟組織の異常を列挙することができる。 2. 主要な軟組織の異常の症状を説明できる。 3. 主要な軟組織の異常の治療法を説明できる。 4. 顎口腔に異常を現す主要な症候群と系統的骨疾患を列挙できる。 5. 主要な症候群と系統的骨疾患の症状を説明できる。 6. 主要な症候群と系統的骨疾患の診断法を説明できる。 7. 主要な症候群と系統的骨疾患の診断法を説明できる。
7月11日(木) 2限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	画像診断1 歯や顎骨に異常を呈する全身疾患の適切な治療を行うため、臨床症状や画像診断・病理診断を基にした総合的診断の知識・技能を習得する。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見について説明する。 副甲状腺疾患、甲状腺疾患、下垂体疾患、骨系統疾患、その他の全身疾患（基底細胞母斑症候群、Gardner症候群、Papillon-Lèfevre症候群、Albright症候群、外胚葉異形成症、Down症候群）
7月11日(木) 3限	飯島伸助教 (口腔外科学)	中間試験	1. コースでこれまでに学んだことについて説明できる。
7月11日(木) 4限	飯島伸助教 (口腔外科学)	補足講義	1. コースでこれまでに学んだことについて説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
7月12日(金) 1限	阿部亮輔助教 (口腔外科学)	顎口腔の炎症 総論 1 炎症の概念を理解し、歯性感染症に関する知識を習得する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 炎症の概念を説明できる。 2. 炎症の種類を列挙できる。 3. 炎症の症状、診断法、治療法を説明できる。 4. 歯性感染症の概念を説明できる。 5. 歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 6. 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。
7月12日(金) 2限	藤村朗教授 (機能形態学) 田村晴希講師 (病態制御学)	顎口腔の炎症 総論 2 顎顔面領域の組織隙について理解する。 炎症の治療に必要な知識を習得する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口底蜂窩織炎の波及について筋隙の観点から解剖学的に説明できる。 2. 翼突下顎隙を解剖学的に説明できる。 3. ケミカルメディエーターについて説明できる。 4. 抗炎症薬の作用点について説明できる。
7月12日(金) 3限	古城慎太郎助教 (口腔外科学)	歯周組織の炎症 顎骨の炎症 各種顎骨の炎症に関する知識を習得する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯周組織の病態、症状、治療法を説明できる。 2. できる。 3. 歯冠周囲炎（智歯周囲炎を含む）の発症原因、症状、診断、治療について説明できる。 4. 歯槽骨炎と顎骨炎の病態、症状、診断、治療について説明できる。 5. 顎骨骨髓炎の分類について説明できる。 6. 急性顎骨骨髓炎の症状、経過、治療法について説明できる。
7月12日(金) 4限	飯島伸助教 (口腔外科学)	医科との連携 2 医科疾患と口腔管理 各種疾患患者を治癒に導くために必要な口腔管理に必要な知識を習得する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 摂食嚥下リハビリテーションや口腔ケアを含む口腔管理について概説できる。 2. 造血幹細胞移植における口腔管理について概説できる。 3. 造血器悪性疾患に伴う口腔症状について説明できる。
7月16日(火) 1限	青村知幸助教 (口腔外科学)	顎骨周囲組織の炎症 蜂窩織炎 歯性上顎洞炎 顎骨周囲組織の炎症および歯性上顎洞炎の治療に必要な知識を習得する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 顎骨周囲・頸部の組織隙を列挙できる。 2. 顎骨周囲・頸部の組織隙の位置を説明できる。 3. 軟組織炎症の症状を説明できる。 4. 蜂窩織炎と膿瘍の違いを説明できる。 5. 軟組織炎症の検査法と治療法を説明できる。 6. 歯性上顎洞炎の成因、検査法、治療法を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
7月16日(火) 2限	阿部亮輔助教 (口腔外科学)	特異性炎 菌性全身感染症 顎・口腔顔面領域における特異性炎および菌性感染症が全身に及ぼす影響に関する知識を習得する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 特異性炎の概念を説明できる。 2. 顎・口腔顔面領域にみられる特異性炎の種類を列挙できる。 3. 主要な特異性炎の原因菌を列挙できる。 4. 主要な特異性炎の症状、検査法、治療法を説明できる。 5. 菌性病変と全身感染症との関連について説明できる。 6. 菌血症と敗血症の病態を説明できる。 7. 菌性病巣感染の病態を説明できる。
7月16日(火) 3限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	画像診断 2 口腔領域の外傷・骨折や上顎洞疾患の適切な治療を行うため、臨床症状や画像診断・病理診断を基にした総合的診断の知識・技能を習得する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見について説明する。 急性骨髄炎・慢性骨髄炎・Garre 骨髄炎・放射線性骨髄炎・放射線性骨壊死・BRONJ・上顎洞炎・上顎洞真菌症・上顎洞粘液貯留嚢胞・術後性上顎嚢胞・上顎洞癌・上顎骨骨折・下顎骨骨折
7月16日(火) 4限	八木正篤助教 星秀樹准教授 (口腔外科学) 佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	自主学習（出席確認なし）	
7月17日(水) 1限	水城春美教授 (口腔外科学)	口腔粘膜疾患 総論 口内炎およびアフタ性病変 口腔粘膜の解剖学的特徴について学習し、口内炎およびアフタ性病変に関する知識を習得する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔粘膜の解剖学的構造について説明できる。 2. 口内炎やアフタの成因、症状について説明できる。 3. 口内炎やアフタの治療法について説明できる。
7月17日(水) 2限	中居賢司教授 (口腔医学)	医科との連携 3 循環器疾患 a 高血圧	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高血圧症の成因と病態を列挙し、その特徴について説明できる。 2. 高血圧症の治療法を列挙し、その概要について説明できる。 3. 高血圧症患者の歯科診療の問題点と対策を説明できる。
7月17日(水) 3限	水城春美教授 (口腔外科学)	口腔粘膜疾患 水疱性疾患 ウイルス性疾患 水疱性疾患およびウイルス性疾患に関する知識を習得する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔粘膜に発症する水疱性疾患を列挙し、その特徴について説明できる。 2. 口腔粘膜に発症する水疱性疾患の治療法について説明できる。 3. 口腔粘膜に発症するウイルス性疾患を列挙し、その特徴について説明できる。 4. 口腔粘膜に発症するウイルス性疾患の治療法について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
7月17日(水) 4限	川村貴史助教 (口腔外科学)	口腔粘膜疾患 角化性疾患 色素異常 舌の病変 口唇の病変 全身疾患を有する 口腔粘膜病変 角化性疾患および色素異常に関する知識を習得し、各種粘膜疾患に関する知識を習得する。	1. 口腔粘膜に発症する角化性疾患を列挙し、その特徴を説明できる。 2. 口腔粘膜に発症する角化性病変の治療法について説明できる。 3. 口腔粘膜に発生する色素異常を列挙できる。 4. 舌に発症する病変を列挙し、その特徴を説明できる。 舌に発症する病変の治療法について説明できる。
7月18日(木) 1限	八木正篤助教 阿部亮輔助教 (口腔外科学)	中間試験	1. コースでこれまでに学んだことについて説明できる。
7月18日(木) 2限	八木正篤助教 阿部亮輔助教 (口腔外科学)	補足講義	1. コースでこれまでに学んだことについて説明できる。
7月18日(木) 3、4限	八木正篤助教 星秀樹准教授 (口腔外科学) 佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	自主学习（出席確認なし）	
7月19日(金) 1、2、3、4限	八木正篤助教 星秀樹准教授 (口腔外科学) 佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	自主学习（出席確認なし）	
8月23日(金) 1限	水城春美教授 (口腔外科学)	口腔腫瘍 総論 1 口腔領域に発生する良性腫瘍および悪性腫瘍に関する知識を習得する。	1. 一般的な腫瘍の特徴や性質を説明できる。 2. 良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。
8月23日(金) 2限	水城春美教授 (口腔外科学)	口腔腫瘍 総論 2 口腔領域に発生する歯源性腫瘍と非歯源性腫瘍に関する知識を習得する。	1. 口腔領域に発症する歯源性腫瘍を列挙し、その特徴について説明できる。 2. 口腔領域に発症する非歯源性腫瘍を列挙し、その特徴について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
8月23日(金) 3限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	画像診断3 口腔領域に発生する良性歯原性・非歯原性腫瘍の適切な治療を行うため、臨床症状や画像診断・病理診断を基にした総合的診断の知識・技能を習得する。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見について説明する。 エナメル上皮腫・角化嚢胞性歯原性腫瘍・石灰化上皮性歯原性腫瘍・石灰化嚢胞性歯原性腫瘍・腺腫様歯原性腫瘍・歯原性粘液腫・エナメル上皮線維歯牙腫・エナメル上皮線維腫・歯原性線維腫
8月23日(金) 4限	松本直子助教 (口腔外科学)	歯原性腫瘍 歯原性腫瘍の種類を把握し、発生病因、臨床症状、病理組織像、診断、治療法を理解する。	1. 歯原性腫瘍を列挙し分類できる。 2. 歯原性良性腫瘍の一般的な臨床症状を説明でき、診断に必要な検査を挙げ、その概略を説明できる。 3. 歯原性良性腫瘍の一般的な治療法を説明できる。
8月26日(月) 1限	松本直子助教 (口腔外科学)	非歯原性良性腫瘍腫瘍類似疾患 非歯原性良性腫瘍、腫瘍類似疾患の種類を把握し、発生病因、臨床症状、病理組織像、診断、治療法を理解する。	1. 非歯原性良性腫瘍、腫瘍類似疾患の特徴と症状を説明できる。 2. 非歯原性良性腫瘍、腫瘍類似疾患の種類、特徴、症状、診断および治療法を説明できる。
8月26日(月) 2限	川村貴史助教 (口腔外科学)	前癌病変 口腔領域に発生する前癌病変に関する知識を習得する。	1. 前癌病変の概念を説明できる。 2. 前癌病変の種類を列挙できる。 3. 前癌病変の診断と治療法について説明できる。
8月26日(月) 3限	八木正篤助教 (口腔外科学)	癌腫 顎顔面口腔領域に発生する上皮性の悪性腫瘍に関する知識を習得する。	1. 非歯原性悪性腫瘍の分類について概説できる。 2. 悪性腫瘍の特徴について概説できる。 3. 口腔癌の臨床症状を説明できる。口腔癌の各種画像所見を説明できる。 4. 口腔癌の病理組織像について説明できる。 5. 口腔癌の治療、予後について説明できる。
8月26日(月) 4限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	画像診断4 口腔領域に発症する悪性腫瘍と骨髄炎の適切な治療を行うため、臨床症状や画像診断・病理診断を基にした総合的診断の知識・技能を習得する。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見について説明する。 下顎歯肉癌・舌癌・口腔底癌・上顎歯肉・上顎洞癌・頬粘膜癌・骨肉腫・悪性黒色腫・悪性リンパ腫

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
8月27日(火) 1限	八木正篤助教 (口腔外科学)	肉腫、悪性リンパ腫、悪性黒色腫 顎顔面口腔領域に発生する非上皮性の悪性腫瘍に関する知識を習得する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔顎顔面領域に発症する主な悪性腫瘍を列挙できる。 2. 主な肉腫の種類を列挙できる。 3. 主な肉腫の特徴、臨床症状、治療および予後について説明できる。 4. 悪性リンパ腫の特徴、臨床症状、治療および予後について説明できる。 5. 悪性黒色腫の特徴、臨床症状、治療および予後について説明できる。
8月27日(火) 2限	古城慎太郎助教 (口腔外科学)	腫瘍の治療 1 外科療法 顎顔面口腔領域に発生する悪性腫瘍に対する手術の種類、適応、術式について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 悪性腫瘍に対する治療の基本を説明できる。 2. 舌癌の切除法の種類を列挙し、適応を説明できる。 3. 下顎歯肉癌の切除法の種類を列挙し、適応を説明できる。 4. 上顎歯肉癌の切除法の種類を列挙し、適応を説明できる。 5. 頸部郭清術の術式を説明できる。
8月27日(火) 3限	田村春希講師 (病態制御学) 藤村朗教授 (機能形態学)	腫瘍の治療 3 化学療法 腫瘍の治療における化学療法について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 化学療法薬について説明できる。 2. 抗腫瘍性抗生物質について説明できる。 3. 頭頸部の動脈の走行を説明できる。 4. 全身の動脈の走行を説明できる。 5. 化学療法で用いられる選択的動脈内注入法、超選択的動脈内注入法について解剖学的に説明できる。
8月27日(火) 4限	東海林理講師 (歯科放射線学)	腫瘍の治療 4 放射線治療	<ol style="list-style-type: none"> 1. 放射線治療における副作用について説明できる。 2. 治療患者の口腔内管理について説明できる。 3. 悪性腫瘍に対する外照射の適応・方法について説明できる。 4. 悪性腫瘍に対する密封小線源照射の適応・方法について説明できる。
8月28日(水) 1限	八木正篤助教 (口腔外科学)	腫瘍の治療 4 化学療法、その他の治療 顎顔面口腔領域に発生する悪性腫瘍に対する化学療法や免疫療法の種類、適応について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 悪性腫瘍の化学療法について概説できる。 2. 口腔悪性腫瘍に使用する化学療法薬を列挙できる。 3. 化学療法薬の投与法を説明できる。 4. 化学療法薬の副作用を説明できる。
8月28日(水) 2限	中居賢司教授 (口腔医学)	医科との連携 3 循環器疾患 b 感染性心内膜炎	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染性心内膜炎の成因と病態について説明できる。 2. 感染性心内膜炎の診察法について説明できる。 3. 感染性心内膜炎予防のためのガイドラインについて説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
8月28日(水) 3限	古城慎太郎助教 川村貴史助教 (口腔外科学)	中間試験	1. コースでこれまでに学んだことについて説明できる。
8月28日(水) 4限	古城慎太郎助教 川村貴史助教 (口腔外科学)	補足講義	1. コースでこれまでに学んだことについて説明できる。
8月29日(木) 1限	藤村朗教授 (機能形態学)	顎関節疾患 総論 顎関節の解剖学的な構造、機能について理解する。	1. 顎関節の構造を説明できる。 2. 顎関節の運動に関係する筋肉を説明できる。 3. 顎関節の限界運動を説明できる。
8月29日(木) 2限	杉山芳樹教授 熊谷章子助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	顎関節疾患 1 顎関節症 顎関節疾患について理解し、顎関節症の種類、原因、症状、診断、治療などに関する知識を習得する。	1. 顎関節の形態と機能について説明できる。 2. 顎関節疾患の種類を列挙できる。 3. 顎関節疾患の原因を列挙できる。 4. 主要な顎関節疾患の症状を概説できる。 5. 顎関節症の概念を説明できる。 6. 顎関節症の分類を説明できる。 7. 顎関節症の症状を説明できる。 8. 顎関節症の診断について説明できる。 9. 顎関節症の治療法を説明できる。
8月29日(木) 3限	杉山芳樹教授 熊谷章子助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	顎関節疾患 2 外傷、炎症、形態・ 機能異常 顎関節における形態、機能異常、損傷、炎症性疾患などの原因、症状、診断、治療などに関する知識を習得する。	1. 主要な顎関節形態異常、機能異常の種類を列挙できる。 2. 主要な顎関節形態異常、機能異常の原因を説明できる。 3. 主要な顎関節形態異常、機能異常の症状を説明できる。 4. 主要な顎関節形態異常、機能異常の治療法を説明できる。 5. 顎関節損傷の種類を列挙できる。 6. 顎関節損傷の原因を列挙できる。 7. 顎関節損傷の症状を説明できる。 8. 顎関節損傷の治療法を説明できる。 9. 顎関節の炎症性疾患の種類を列挙できる。 10. 顎関節の炎症性疾患の原因を列挙できる。 11. 顎関節の炎症性疾患の症状を説明できる。 12. 顎関節の炎症性疾患の治療法を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
8月30日(金) 1限	星秀樹准教授 熊谷章子助教 (口腔外科学)	顎口腔の嚢胞 総論 口腔領域に発生する嚢胞の分類、臨床症状、各種画像診断、病理組織像、診断、治療法を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔領域に発生する嚢胞を分類できる。 2. 嚢胞の臨床症状を説明できる。 3. 嚢胞のX線写真、CT写真、MRI写真を読影できる。 4. 嚢胞に対する適切な治療を説明できる。
8月30日(金) 2限	星秀樹准教授 熊谷章子助教 (口腔外科学)	顎口腔の嚢胞 1 顎嚢胞 2 軟組織の嚢胞 顎骨に発生する嚢胞、口腔顎顔面領域に発生する嚢胞の分類、発生病因、臨床症状、X線写真所見、各種画像診断、病理組織像、診断、治療法を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 顎骨に発生する嚢胞を列挙し分類できる。 2. 顎骨に発生する嚢胞の発生病因を説明できる。 3. 顎骨に発生する嚢胞の臨床症状を説明できる。 4. 顎骨に発生する嚢胞のX線写真を読影できる。 5. 顎骨に発生する嚢胞のCT写真、MRI写真を読影できる。 6. 顎骨に発生する嚢胞に対する適切な治療法を選択できる。 7. 口腔顎顔面領域の軟組織に発生する嚢胞を列挙し分類できる。 8. 口腔顎顔面領域の軟組織に発生する嚢胞の発生病因を説明できる。 9. 口腔顎顔面領域の軟組織に発生する嚢胞の臨床症状を説明できる。 10. 口腔顎顔面領域の軟組織に発生する嚢胞のX線写真を読影できる。 11. 口腔顎顔面領域の軟組織に発生する嚢胞のCT写真、MRI写真を読影できる。 12. 口腔顎顔面領域の軟組織に発生する嚢胞に対する適切な治療法を選択できる。 13. 嚢胞に対する手術法を列挙し概略を説明できる。 14. 嚢胞の手術に必要な器具の種類を列挙し用法を説明できる。 15. 的確な治療方針を立案できる。 16. 術中、術後の偶発症を説明でき、その対処法を説明できる。
8月30日(金) 3限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	画像診断 5 口腔領域に発生する嚢胞および偽嚢胞の適切な治療を行うため、臨床症状や画像診断・病理診断を基にした総合的診断の知識・技能を習得する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見について説明する。 歯根嚢胞・残留嚢胞・含歯性嚢胞・歯周嚢胞・側方歯周嚢胞・鼻口蓋嚢胞・鼻歯槽嚢胞・単純性骨嚢胞・静止性骨空洞・脈瘤性骨嚢胞

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
8月30日(金) 4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	症例検討 (班別実習・第1講義室) 顎口腔領域の疾患の治療方針、予後について習得する。	1. 経過、症状および各種検査所見から診断ができる。 2. 鑑別診断を列挙できる。 3. 治療方針が立案できる。 4. 予後について説明できる。
9月2日(月) 1限	安藤禎紀助教 (機能形態学)	神経疾患 総論 顎顔面、頭頸部領域の神経について理解する。	1. 脳神経の名称と通過する頭蓋底の孔名を説明できる。 2. 三叉神経の走行と分布域を説明できる。 3. 顔面神経の走行と分布域を理解し、顔面神経麻痺の症状を顔面神経の走行で説明できる。 4. 頸静脈孔を通過する神経の走行と分布域を説明できる。
9月2日(月) 2限	青村知幸助教 (口腔外科学)	口腔顔面痛 慢性疼痛 様々な口腔顔面痛ならびに心因性病態について理解する。	1. 顎顔面口腔領域の疼痛の種類を列挙できる。 2. 三叉神経痛の概念、症状および治療法について説明できる。 3. 舌咽神経痛の概念、症状および治療法について説明できる。
9月2日(月) 3限	星秀樹准教授 (口腔外科学)	神経麻痺 神経麻痺について理解する。	1. 神経麻痺の特徴、症状および治療法を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月2日(月) 4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	症例検討 (班別実習・第1講義室) 顎口腔領域の疾患の治療方針、予後について習得する。	1. 経過、症状および各種検査所見から診断ができる。 2. 鑑別診断を列挙できる。 3. 治療方針が立案できる。 4. 予後について説明できる。
9月3日(火) 1限	星秀樹准教授 熊谷章子助教 (口腔外科学)	唾液腺疾患 総論 唾液腺疾患の症状、診断および治療法を理解する。	1. 唾液腺疾患の種類と特徴を説明できる。 2. 唾液腺疾患の症状、検査および治療法を説明できる。
9月3日(火) 2限	星秀樹准教授 熊谷章子助教 (口腔外科学)	唾液腺疾患 各論 唾液腺疾患の症状、診断および治療法を理解する。	1. 唾液腺の炎症性疾患を説明できる。 2. 唾液腺の外傷を説明できる。 3. 唾液腺の閉塞性疾患を説明できる。
9月3日(火) 3限	熊谷章子助教 (口腔外科学)	アンチエイジング医学 アンチエイジング医学について理解する。	1. アンチエイジング医学について概説できる。 2. アンチエイジング医学実践のための検査の種類とその目的を説明できる。 3. 口腔から考えるアンチエイジングについて概説できる。
9月3日(火) 4限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	画像診断6 唾液腺疾患の適切な治療を行うため、臨床症状や画像診断・病理診断を基にした総合的診断の知識・技能を習得する。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見について説明する。 唾液腺炎・Sjogren 症候群・Mikulicz 症候群・唾石・唾液腺腫瘍
9月4日(水) 1限	星秀樹准教授 熊谷章子助教 (口腔外科学)	唾液腺腫瘍の治療 唾液腺腫瘍の症状、診断および治療法を理解する。	1. 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明できる。 2. 唾液腺腫瘍の症状、検査および治療法を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月4日(水) 2限	中居賢司教授 (口腔医学)	医科との連携 4 抗血小板・抗凝固療法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 抗血小板・抗凝固療法の適応となる疾患を説明できる。 2. 抗凝固療法と抗血小板療法の薬剤の使用について説明できる。 3. 歯科診療における抗凝固療法と抗血小板療法のガイドラインについて説明できる。
9月4日(水) 3、4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	症例検討 (全体実習・第1講義室) 顎口腔領域の疾患の治療方針、予後について習得する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経過、症状および各種検査所見から診断ができる。 2. 鑑別診断を列挙できる。 3. 治療方針が立案できる。 4. 予後について説明できる。 1~4の内容を的確に説明できる。
9月5日(木) 1限	熊谷章子助教 (口腔外科学)	ドライマウスの臨床 ドライマウスについて理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ドライマウスの原因とその診断について説明できる。 2. ドライマウスの診断に必要な検査について説明できる。 3. ドライマウスの治療について概説できる。 4. ドライマウスに関連する疾患と病態およびその対処法について説明できる。
9月5日(木) 2限	八木正篤助教 星秀樹准教授 (口腔外科学) 佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	自主学习(出席確認なし)	
9月5日(木) 3限	熊谷章子 (口腔外科学)	中間試験	<ol style="list-style-type: none"> 1. コースでこれまでに学んだことについて説明できる。
9月5日(木) 4限	熊谷章子 (口腔外科学)	補足講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. コースでこれまでに学んだことについて説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月6日(金) 1限	阿部亮輔助教 (口腔外科学)	血液疾患 総論 血液疾患に関する知識を習得する。	1. 血液の成分について説明できる。 2. 血球成分の基準値を説明できる。 3. 血球成分のスクリーニング検査法を列挙できる。
9月6日(金) 2限	八木正篤助教 (口腔外科学)	血液疾患 1 赤血球、白血球異常 貧血や白血病の全身的症状と口腔症状について習得する。	1. 赤血球の異常を現す疾患を列挙できる。 2. 貧血について概説できる。 3. 貧血の症状を説明できる。 4. 貧血の治療法を説明できる。 5. 白血球の異常を現す疾患を列挙できる。 6. 白血病について概説できる。 7. 白血病の症状を説明できる。
9月6日(金) 3限	八木正篤助教 (口腔外科学)	血液疾患 2 出血性素因 出血性素因に関する知識を習得する。	1. 出血性素因を現す主要な疾患を列挙できる。 2. 止血機能のスクリーニング検査項目を列挙できる。 3. 主要な出血性素因の病因、病態を説明できる。 4. 出血性素因の治療法を説明できる。 5. 抗血栓療法について説明できる。 6. 抗血栓療法の適応疾患を列挙できる。 7. 抗血栓療法薬を列挙できる。
9月6日(金) 4限	八木正篤助教 星秀樹准教授 (口腔外科学) 佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	自主学習（出席確認なし）	
9月9日(月) 1限	城茂治教授 (歯科麻酔学)	歯科麻酔学 総論 歯科医療における歯科麻酔(学)の役割、意義を理解する。	1. (歯科)麻酔の概念を説明できる。 2. 歯科麻酔の特徴、役割を説明できる。 3. 麻酔法の種類を列挙できる。 4. 麻酔におけるインフォームドコンセントについて説明できる。
9月9日(月) 2限	佐藤健一講師 (歯科麻酔学)	術前評価・術前管理 術前の全身状態評価、管理について理解する。	1. 問診、視診、聴診等により患者の現症を把握できる。 2. 各種臨床検査について説明できる。 3. 全身状態評価、分類法を説明できる。 4. 手術および歯科治療時に留意すべき常用薬物について説明できる。 5. 術前経口摂取制限について説明できる。 6. 麻酔前投薬について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月9日(月) 3限	藤村朗教授 (機能形態学)	局所麻酔に必要な解剖学 局所麻酔に必要な解剖学を理解する。	1. 下顎孔伝達麻酔について翼突下顎隙の観点から解剖学的に説明できる。 2. 眼窩下孔伝達麻酔について解剖学的に説明できる。 3. 浸潤麻酔に関係する顎骨の構造(小孔、頬骨窩稜、切歯管等)を説明できる。
9月9日(月) 4限	田村晴希講師 (病態制御学)	局所麻酔薬 血管収縮薬 局所麻酔薬、血管収縮薬について理解する。	1. 局所麻酔薬の種類と特徴を説明できる。 2. 血管収縮薬の種類、特徴および臨床使用上の注意を説明できる。
9月10日(火) 1限	坂本望助教 (歯科麻酔学)	局所麻酔法 浸潤麻酔・伝達麻酔 局所麻酔法について説明できる。	1. 局所麻酔の目的を説明できる。 2. 局所麻酔法の種類、特徴を説明できる。 3. 表面麻酔法について説明できる。 4. 浸潤麻酔法について説明できる。 5. 伝達麻酔法について説明できる。
9月10日(火) 2限	佐藤健一講師 (歯科麻酔学)	精神鎮静法 精神鎮静法について説明できる。	1. 精神鎮静法の概念、目的、適応、禁忌、種類、実施法を説明できる。 2. 吸入鎮静法について説明できる。 3. 静脈内鎮静法について説明できる。 4. 静脈内鎮静法の使用薬剤を説明できる。
9月10日(火) 3、4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	浸潤麻酔 伝達麻酔 (班別実習・口腔外科外来) 浸潤麻酔、伝達麻酔に関する知識、技術、態度を習得する。	1. 浸潤麻酔、伝達麻酔に必要な解剖学的事項を説明できる。 2. 浸潤麻酔、伝達麻酔に必要な器具を列挙できる。 3. 浸潤麻酔、伝達麻酔を安全に行うことができる。 4. 浸潤麻酔、伝達麻酔の偶発症を列挙し、その対処法を説明できる。
9月11日(水) 1限	佐藤健一講師 (歯科麻酔学)	全身麻酔法 全身麻酔法について説明できる。	1. 全身麻酔の理論、概念、機序を説明できる。 2. 全身麻酔に使用する装置、器具、回路を説明できる。 3. 吸入麻酔法を説明できる。 4. 静脈麻酔法を説明できる。 5. 全身麻酔における気道確保について説明できる。 6. 気管挿管の適応、手技について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月11日(水) 2限	田村晴希講師 (病態制御学)	全身麻酔薬	1. 全身麻酔薬の種類と特徴を説明できる。 2. 麻酔前投薬、筋弛緩薬について種類と薬理作用を説明できる。
9月11日(水) 3、4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	浸潤麻酔 伝達麻酔 (班別実習・口腔外科外来) 浸潤麻酔、伝達麻酔に関する知識、技術、態度を習得する。	1. 浸潤麻酔、伝達麻酔に必要な解剖学的事項を説明できる。 2. 浸潤麻酔、伝達麻酔に必要な器具を列挙できる。 3. 浸潤麻酔、伝達麻酔を安全に行うことができる。 4. 浸潤麻酔、伝達麻酔の偶発症を列挙し、その対処法を説明できる。
9月12日(木) 1限	佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	術中管理 1 呼吸管理、循環管理 術中の呼吸管理、循環管理について説明できる。	1. 術中呼吸管理について説明できる。 2. 術中循環管理について説明できる。 3. 術中合併症を列挙し、対処法を説明できる。
9月12日(木) 2限	佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	術中管理 2 輸液・輸血・代謝管理・酸塩基平衡、他 術中の輸液管理などを説明できる。	1. 術中の輸液・輸血管理について説明できる。 2. 術中の代謝管理について説明できる。 3. 酸塩基平衡について説明できる。
9月12日(木) 3、4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	浸潤麻酔 伝達麻酔 (班別実習・口腔外科外来) 浸潤麻酔、伝達麻酔に関する知識、技術、態度を習得する。	1. 浸潤麻酔、伝達麻酔に必要な解剖学的事項を説明できる。 2. 浸潤麻酔、伝達麻酔に必要な器具を列挙できる。 3. 浸潤麻酔、伝達麻酔を安全に行うことができる。 4. 浸潤麻酔、伝達麻酔の偶発症を列挙し、の対処法を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月13日(金) 1限	坂本望助教 (歯科麻酔学)	術後管理 1 全身合併症、疼痛管理 術後管理について説明できる。	1. 術後の全身管理について説明できる。 2. 術後全身合併症を列挙し、対処法を説明できる。 3. 術後疼痛管理について説明できる。 4. 術後鎮痛薬の種類と特徴を説明できる。
9月13日(金) 2限	飯島伸助教 熊谷章子助教 (口腔外科学)	術後管理 2 栄養管理、感染予防 術後の栄養管理、感染予防の基本的事項を理解する。	1. 術後の栄養管理について概説できる。 2. 栄養投与法を列挙し、その特徴を概説できる。 3. 術後の感染予防について概説できる。
9月13日(金) 3、4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	浸潤麻酔 伝達麻酔 (班別実習・口腔外科外来) 浸潤麻酔、伝達麻酔に関する知識、技術、態度を習得する。	1. 浸潤麻酔、伝達麻酔に必要な解剖学的事項を説明できる。 2. 浸潤麻酔、伝達麻酔に必要な器具を列挙できる。 3. 浸潤麻酔、伝達麻酔を安全に行うことができる。 4. 浸潤麻酔、伝達麻酔の偶発症を列挙し、の対処法を説明できる。
9月17日(火) 1限	城茂治教授 (歯科麻酔学)	局所麻酔の偶発症 1 局所麻酔の偶発症について説明できる。	1. 局所麻酔法の局所的偶発症について説明できる。 2. 局所麻酔および歯科治療時の内科的疾患の増悪について説明できる。 3. 歯科治療時の誤飲・誤嚥について説明できる。
9月17日(火) 2限	城茂治教授 (歯科麻酔学)	局所麻酔の偶発症 2 局所麻酔の偶発症について説明できる。	1. 局所麻酔および歯科治療時の全身的偶発症について説明できる。(神経性ショック、過換気症候群、アナフィラキシー、局所麻酔中毒、血管収縮薬に対する反応、メトヘモグロビン血症) 2. ショックについて説明できる。
9月17日(火) 3限	坂本望助教 (歯科麻酔学)	中間試験	1. コースでこれまでに学んだことについて説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月17日(火) 4限	佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	補足講義	1. コースでこれまでに学んだことについて説明できる。
9月18日(水) 1限	川村貴史助教 (口腔外科学)	手術 総論1 滅菌法・消毒法 消毒法について理解する。	1. 滅菌法の概念を説明できる。 2. 消毒法の概念を説明できる。 3. 滅菌法の種類、適応について説明できる。 4. 消毒法の種類、適応について説明できる。 5. 術前の手指の消毒法を説明できる。 6. 手術野の消毒法を説明できる。
9月18日(水) 2限	川村貴史助教 (口腔外科学)	総論2 手術器具 切開、縫合、止血、骨切削などに用いる器具について理解する。	1. メスの種類と特徴を列挙できる。 2. 縫合に必要な器材を列挙できる。 3. 止血に用いる器材を列挙できる。 4. 骨切削に用いる器具を列挙できる。
9月18日(水) 3、4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	頭頸部の診察 (全体実習・臨床第1実習室) 顔面・頸部の診察に関する知識、技能、態度を習得する。	1. 診察の環境を整えることができる。 2. 適切なコミュニケーションをとりながら診察をすることができる。 3. 患者に配慮した診察を実施できる。 4. 頭頸部の診察の手順を説明できる。 5. 頭頸部の診察を実施できる。 6. 診察結果をカルテに記載できる。 7. 診察結果を患者に説明できる。
9月19日(木) 1限	古城慎太郎助教 (口腔外科学)	手術 総論3 外来手術の基本手技	1. 縫合の種類を列挙し、説明できる。 2. 止血法の種類を列挙し、説明できる。
9月19日(木) 2限	古城慎太郎助教 (口腔外科学)	手術 総論4 外来手術の基本手技 抜歯の手順や用いる器具の使い方について習得する。	1. 抜歯の基本手技について説明できる。 2. 骨や歯の切削手技について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月19日(木) 3、4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	手洗い法 滅菌グローブの装着法 (全体実習・臨床第1実習室) 外科手術における手指の消毒、滅菌手袋の装着に関する知識、技能、態度を習得する。	1. 手術前の手洗いが適切にできる。 2. 滅菌グローブが清潔に装着できる。
9月20日(金) 1限	杉山芳樹教授 松本直子助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	手術 各論1 抜歯 抜歯を適切に実施するために必要な知識を習得する。	1. 抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。 2. 抜歯の偶発症と合併症およびその対処法を説明できる。 3. 抜歯に必要な器具の用法と手技を説明できる。 4. 抜歯の正常治癒経過および異常な治癒経過とその対処法を説明できる。
9月20日(金) 2限	杉山芳樹教授 松本直子助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	手術 各論2 難抜歯 埋伏歯の抜歯を適切に実施するために必要な知識を習得する。	1. 埋伏歯の抜歯法を説明できる。 2. 埋伏歯の抜歯の偶発症と合併症およびその対処法を説明できる。 3. 埋伏歯の抜歯に必要な器具の用法と手技を説明できる。
9月20日(金) 3、4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	抜歯 (全体実習・臨床第1実習室) 抜歯を適切に実施するために必要な知識、技能、態度を習得する。	1. 単純抜歯に必要な器具を列挙できる。 2. 単純抜歯に使用する器具の使い方を説明できる。 3. 抜歯鉗子の種類を区別できる。 4. 抜歯に必要な器具、材料を清潔操作で準備できる。 5. 抜歯操作が適切にできる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月24日(火) 1限	杉山芳樹教授 松本直子助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	手術 各論3 歯根端切除術 歯槽堤手術 歯根端切除術、歯槽堤の手術を適切に実施するために必要な知識を習得する。	1. 歯根端切除術の適応症と禁忌症を説明できる。 2. 歯根端切除術の偶発症と合併症およびその対処法を説明できる。 3. 歯根端切除術に必要な器具の用法と手技を説明できる。 4. 歯槽堤整形術の適応症と手技を説明できる。
9月24日(火) 2限	杉山芳樹教授 飯島伸助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	手術 各論4 歯の移植・移植 歯の移植・移植を適切に実施するために必要な知識を習得する。	1. 歯の移植・再植の適応症と手技を説明できる。 2. 歯の移植・再植に必要な器具の用法と手技を説明できる。
9月24日(火) 3、4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	切開 縫合 抜糸 (全体実習・臨床第1実習室) 切開、縫合、抜糸を適切に実施するために必要な知識を習得する。	1. 縫合、抜糸に必要な器具、材料を準備できる。 2. 切開が適切にできる。 3. 手指縫合が実施できる。 4. 抜糸が適切にできる。
9月25日(水) 1限	杉山芳樹教授 飯島伸助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	手術 各論5 その他の手術 軟組織の手術、補綴前手術を適切に実施するために必要な知識を習得する。	1. 軟組織の欠損や延長に関する手術の理論を説明できる。 2. 小帯に対する手術の適応症と手技を説明できる。 3. 補綴前手術の適応症と手技を説明できる。
9月25日(水) 2限	星秀樹准教授 熊谷章子助教 (口腔外科学)	手術 各論6 移植と再建外科 移植術による顎顔面領域の再建に必要な知識を習得する。	1. 軟組織の移植による再建術を説明できる。 2. 骨の移植による再建術を説明できる。 3. 骨延長法による再建術を概説できる。 4. 生体材料による再建術を概説できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月25日(水) 3限	佐藤健一講師 (歯科麻酔学)	医科との連携 5 代謝・内分泌疾患、腎臓疾患 代謝・内分泌疾患、腎臓疾患およびその疾患を有する患者の管理法を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科診療および全身麻酔時に注意すべき代謝・内分泌疾患を説明できる。 2. 代謝・内分泌疾患患者の管理上の問題点、対処法を説明できる。 3. 歯科診療および全身麻酔時に注意すべき腎臓疾患を説明できる。 4. 腎臓疾患患者の管理上の問題点、対処法を説明できる。
9月25日(水) 4限	佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	医科との連携 6 呼吸器疾患・脳血管疾患・その他の疾患まとめ 呼吸器疾患・脳血管疾患、およびその疾患を有する患者の管理法を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科診療および全身麻酔時に注意すべき呼吸器疾患を説明できる。 2. 呼吸器疾患患者の管理上の問題点、対処法を説明できる。 3. 法を説明できる。 4. 全身麻酔および歯科診療時に注意すべき脳血管疾患を説明できる。 5. 脳血管疾患患者の管理上の問題点、対処法を説明できる。 6. 歯科診療および全身麻酔時に注意すべきその他の全身疾患を列挙できる。
9月26日(木) 1限	川村貴史助教 (口腔外科学)	医科との連携 7 小児、妊婦 小児や妊婦に対する歯科治療で留意する事項について習得する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊婦の身体的特徴を概説できる。 2. 妊婦に対する歯科治療における留意点を列挙できる。 3. 小児の身体的特徴を概説できる。 4. 妊婦に対する歯科治療における留意点を列挙できる。 5. 小児や妊婦に対する投薬における留意点を列挙できる。
9月26日(木) 2限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	症例検討 (班別実習・第1講義室) 顎口腔領域の疾患の治療方針、予後について習得する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経過、症状および各種検査所見から診断ができる。 2. 鑑別診断を列挙できる。 3. 治療方針が立案できる。 4. 予後について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月26日(木) 3限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	症例検討 (班別実習・第1講義室) 顎口腔領域の疾患の治療方針、予後について習得する。	1. 経過、症状および各種検査所見から診断ができる。 2. 鑑別診断を列挙できる。 3. 治療方針が立案できる。 4. 予後について説明できる。
9月26日(木) 4限	水城春美教授 (口腔外科学)	歯科医療における安全性への配慮と危機管理 医療上の事故等への対処と予防 医療従事者の健康と安全	1. 医療事故と医療過誤の違いを説明できる。 2. 医療事故の事例の原因の分析、防止策について説明できる。 3. 医療事故発生時の緊急処置・記録・報告について説明できる。 4. 医療過誤における歯科医師の社会的責任と罰則規定の基本的事項を説明できる。 5. 基本的予防策について説明できる。 6. 医療従事者の健康管理の重要性を説明できる。 7. 標準予防策の必要性を説明できる。 8. 針刺し事故の対処法を説明できる。
9月27日(金) 1限	星秀樹准教授 (口腔外科学)	中間試験	1. コースでこれまでに学んだことについて説明できる。
9月27日(金) 2限	星秀樹准教授 (口腔外科学)	補足講義	1. コースでこれまでに学んだことについて説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月27日(金) 3、4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	症例検討 (全体実習・第1講義室) 顎口腔領域の疾患の治療方針、予後について習得する。	1. 経過、症状および各種検査所見から診断ができる。 2. 鑑別診断を列挙できる。 3. 治療方針が立案できる。 4. 予後について説明できる。 1～4の内容を的確に説明できる。
9月30日(月) 1限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	症例検討 (班別実習・第1講義室) 顎口腔領域の疾患の治療方針、予後について習得する。	1. 経過、症状および各種検査所見から診断ができる。 2. 鑑別診断を列挙できる。 3. 治療方針が立案できる。 4. 予後について説明できる。
9月30日(月) 2限	八木正篤助教 星秀樹准教授 (口腔外科学) 佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	自主学习 (出席確認なし)	

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月30日(月) 3、4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	実技試験(臨床第1実習室)	1. コースでこれまでに学んだことについて説明できる。
10月1日(火) 1限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	症例検討 (班別実習・第1講義室) 顎口腔領域の疾患の治療方針、予後について習得する。	1. 経過、症状および各種検査所見から診断ができる。 2. 鑑別診断を列挙できる。 3. 治療方針が立案できる。 4. 予後について説明できる。
10月1日(火) 2限	八木正篤助教 星秀樹准教授 (口腔外科学) 佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	自主学习(出席確認なし)	

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月1日(火) 3、4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	実技試験(臨床第1実習室)	1. コースでこれまでに学んだことについて説明できる。
10月2日(水) 1、2限	八木正篤助教 星秀樹准教授 (口腔外科学) 佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	自主学習(出席確認なし)	
10月2日(水) 3、4限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	症例検討 (全体実習・第1講義室) 顎口腔領域の疾患の治療方針、予後について習得する。	1. 経過、症状および各種検査所見から診断ができる。 2. 鑑別診断を列挙できる。 3. 治療方針が立案できる。 4. 予後について説明できる。 1〜4の内容を的確に説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月3日(木) 1、2限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	症例検討 (班別実習・第1講義室) 顎口腔領域の疾患の治療方針、予後について習得する。	1. 経過、症状および各種検査所見から診断ができる。 2. 鑑別診断を列挙できる。 3. 治療方針が立案できる。 4. 予後について説明できる。
10月3日(木) 4限	八木正篤助教 星秀樹准教授 (口腔外科学) 佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	自主学习 (出席確認なし)	
10月4日(金) 1、2限	水城春美教授 青村知幸助教 八木正篤助教 古城慎太郎助教 川村貴史助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 星秀樹准教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	症例検討 (全体実習・第1講義室) 顎口腔領域の疾患の治療方針、予後について習得する。	1. 経過、症状および各種検査所見から診断ができる。 2. 鑑別診断を列挙できる。 3. 治療方針が立案できる。 4. 予後について説明できる。 1～4の内容を的確に説明できる。
10月4日(金) 3、4限	八木正篤助教 星秀樹准教授 (口腔外科学) 佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	自主学习 (出席確認なし)	

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月7日(月) 1、2、3限	八木正篤助教 星秀樹准教授 (口腔外科学) 佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	自主学習(出席確認なし)	
10月8日(火) 1、2限	八木正篤助教 星秀樹准教授 (口腔外科学) 佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	自主学習(出席確認なし)	
10月8日(火) 3限	八木正篤助教 星秀樹准教授 (口腔外科学) 佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	コース最終筆記試験	
10月8日(火) 4限	八木正篤助教 星秀樹准教授 (口腔外科学) 佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	自主学習(出席確認なし)	
10月9日(水) 1、2限	八木正篤助教 星秀樹准教授 (口腔外科学) 佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	自主学習(出席確認なし)	
10月9日(水) 3限	八木正篤助教 星秀樹准教授 (口腔外科学) 佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	コース最終筆記試験	
10月9日(水) 4限	八木正篤助教 星秀樹准教授 (口腔外科学) 佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	自主学習(出席確認なし)	

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書名	著者氏名	発行所	発行年
教	口腔外科学 3版	白砂兼光・古郷幹彦 編	医歯薬出版	2010年
教	臨床歯科麻酔学 4版	丹羽均ほか編著	永末書店	2011年
推	口腔外科学 4版	泉廣次、工藤逸郎 監修	学建書院	2008年
推	標準口腔外科学 3版	野間弘康ほか 編	医学書院	2004年
推	最新口腔外科学 総論・各論 4版 全2巻	榎本昭二ほか編	医歯薬出版	1999年
参	カラーアトラス サクシントロ口腔外科学 3版	内山健志ほか編	学建書院	2011年
参	イラストでみる口腔外科手術 第1巻	日本口腔外科学会 編	クインテッセンス出版	2010年
参	ハンディ口腔外科学 2版	新藤潤一 編	学建書院	2005年
参	歯科麻酔学 7版	福島和昭ほか編	医歯薬出版	2011年

成績評価方法

<p>講義 (65点以上で合格)：中間筆記試験、コース最終筆記試験の総合評価 実習 (65点以上で合格)：実習 (態度、知識、技能) 評価、コース最終実習試験の総合評価 講義と実習が、それぞれ合格した場合に合格とする。</p> <p>備考： 本コースの実習：すべての実習に出席し、検印を受けることをする。 実習に対する知識 (実習内容を理解することができる)、技術 (実習内容に則した手技ができる)、積極性 (実習意欲があり積極的に行動することができる)、礼節 (礼儀正しい話し方ができ責任ある行動ができる) を評価の対象とする。 講義・実習：講義、実習ともに欠席、遅刻に応じて減点する。</p>

オフィスアワー

氏名	方式	曜日	時間帯	備考
水城春美	B-i	月一金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
青村知幸	B-i	月一金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
八木正篤	B-i	月一金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
古城慎太郎	B-i	月一金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
川村貴史	B-i	月一金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
阿部亮輔	B-i	月一金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
山谷元気	B-i	月一金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
杉山芳樹	B-i	月一金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
星 秀樹	B-i	月一金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
熊谷章子	B-i	月一金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
飯島 伸	B-i	月一金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
松本直子	B-i	月一金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
野宮孝之	B-i	月一金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
大橋祐生	B-i	月一金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
城 茂治	B-i	月一金		不在の時は教室員に伝言のこと。

氏名	方式	曜日	時間帯	備考
佐藤雅仁	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
佐藤健一	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
四戸 豊	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
坂本 望	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
遠藤千恵	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
藤村 朗	A-i	月～金	随時	矢巾のため、メールにて対応。 akifuji@iwate-med.ac.jp
成田欣弥	B-i	月～金		時間が空いていればいつでも可。 e-mailでも対応可。knarita@iwate-med.ac.jp
田村晴希	B-i	月～金		時間が空いていればいつでも可。
泉澤 充	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言の上、必要があればアポイントをとること。
中居賢司	B-i	月～金	18:00以降	電話あるいはメールで予約する。不在の時は教務課に伝言。

授業に使用する機械・器具と使用目的

[AST]

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的	
カラー複合機・DocuCentre IV	C3370P	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義資料作成用
ノートパソコン・MacBook Air 一式	11インチ MC505J/A	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義資料作成用
ノートブックパソコン・MacBookAir・一式	CTO Education ZOJK	1	基礎実習用機器	講義資料作成・提示用
ノートパソコン・VAIO	VPCS149FJ/B	1	基礎実習用機器	講義資料作成・提示用
デスクトップパソコン・MacPro	2.4GHz 8Core Xeon ZOLG	1	基礎実習用機器	実習・講義資料作成用
カラー複合機・一式	imagio MPC3301	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義資料作成用
ノートパソコンLets note B10	CF-B10 CWHDR	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義プレゼンテーション用
ノートパソコン・MacBookAir		1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義プレゼンテーション用
ノートパソコン MacBook Pro		1	基礎実習用機器 視聴覚機器	症例プレゼンテーション用
デスクトップパソコン	MC813J/A	1	基礎実習用機器 視聴覚機器	実習資料保存 症例プレゼンテーション用
Ettan IPGphor+Strip Holder一式		1	基礎実習用機器	実習試料作成用
ノートパソコン MacBook Pro	MD101J/A Education	1	基礎実習用機器 視聴覚機器	症例プレゼンテーション用
デスクトップパソコン	Vostro 470 ミニタワー	1	基礎実習用機器 視聴覚機器	講義・実習に使用する配布資料の作成